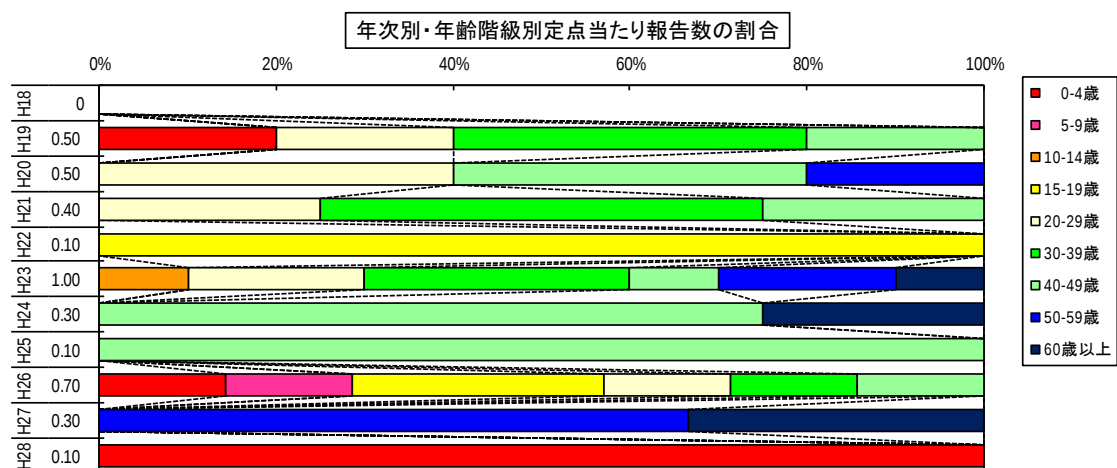
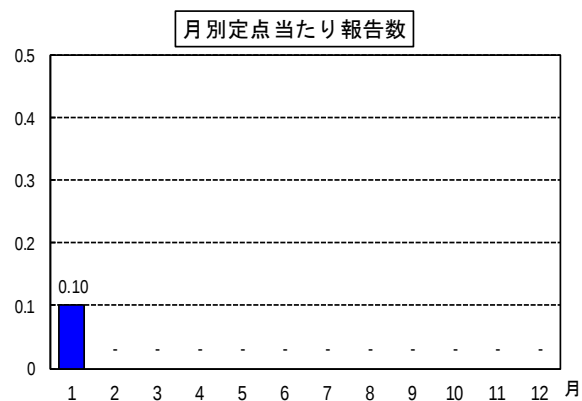
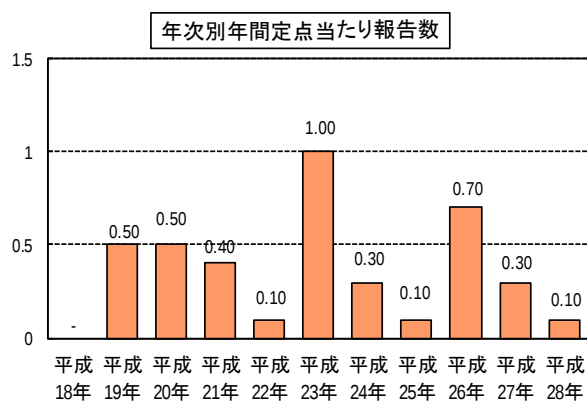
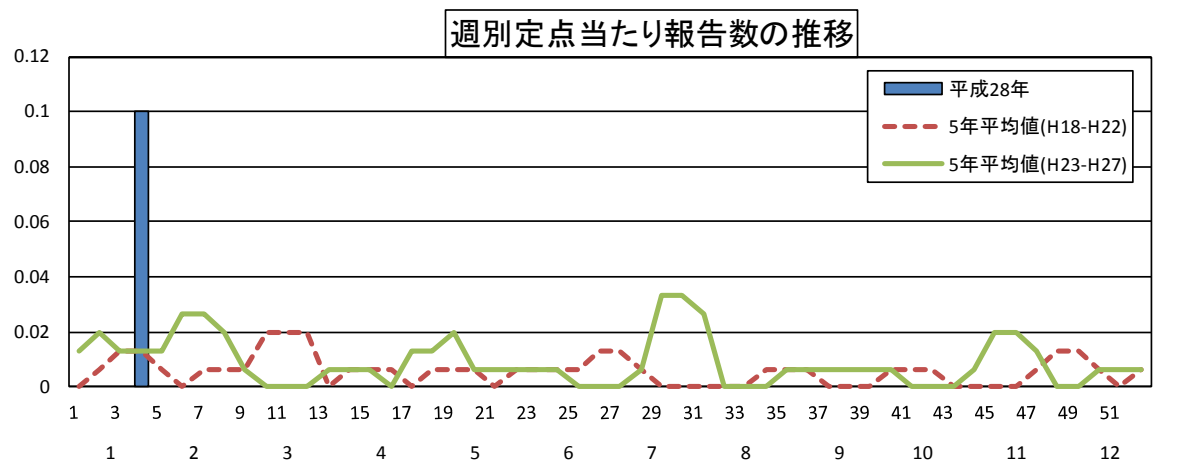


ウ 眼科定点

(7) 急性出血性結膜炎

平成28年は年間報告数1例、年間定点当たり報告数0.10、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.21、前年比0.33であった。



(イ) 流行性角結膜炎

平成28年は年間報告数157例、年間定点当たり報告数15.70、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.53、前年比0.77であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数と比べると、最も少なかった。

月別定点当たり報告数では、9月(2.10)、10月(1.80)、2月(1.50)が多かった。

年齢階級別では、30～39歳(29.3%)が最も多く、次いで40～49歳(12.1%)、20～29歳及び50～59歳(11.5%)の順であった。

